

平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年3月4日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東
 コード番号 3180 URL http://www.beautygarage.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員 (氏名)伊藤 雅之 (TEL)03(5347)9512
 経営管理グループ統括責任者
 四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第3四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	3,753	—	195	—	213	—	119	—
24年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年4月期第3四半期 119百万円(—%) 24年4月期第3四半期 一百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第3四半期	113.37	—
24年4月期第3四半期	—	—

- (注) 1. 平成24年4月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年4月期第3四半期及び平成25年4月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、平成25年4月期第3四半期において当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
 3. 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行っております。このため、当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第3四半期	1,570	798	50.8
24年4月期	1,554	678	43.6

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 798百万円 24年4月期 678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	—	—	—	0.00	0.00
25年4月期	—	—	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,244	20.7	293	17.3	296	17.4	171	15.9	158.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年4月期3Q	1,058,000株	24年4月期	1,058,000株
25年4月期3Q	—株	24年4月期	—株
25年4月期3Q	1,058,000株	24年4月期3Q	—株

- (注) 1. 平成24年10月2日付で1株につき200株の株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。
2. 平成24年4月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載していません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、当初、東日本大震災後の復興需要などを背景に回復基調にあるものの、円高の長期化及び欧州債務危機による金融市場の不安定さ、さらには日中関係の悪化による経済変調などにより景気は後退局面に入っており、依然として先行きは不透明な状況となっております。しかしながら、昨年12月の政権交代による景気対策への期待などから株価の上昇や円安の流れとなり、景気回復の兆しも見え始めました。

当社グループが事業を展開する美容サロン業界におきましても消費者マインドの冷え込みから厳しい経済環境が続いていたことから、経済的な商材の仕入ルートの確保や効果的な集客方法を検討・実施する傾向が強まってきております。

そのような状況下、当社グループでは、最大の販路であるプロ向け理美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」における利便性の向上や低価格商品を中心とした品揃えの強化に最大限注力したことで、新規顧客の開拓と既存顧客のリピート率向上を実現して参りました。

また、廉価でデザイン性の高いオリジナルブランド理美容機器の投入や業務用化粧品ラインナップの拡充を果たすことで、利益率の確保と販売量の拡大にも努めるとともに、理美容・エステティックサロン等のビューティサロンの開業と経営を支援するワンストップ体制を活用することで総合受注の促進を図って参りました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は3,753,774千円、営業利益は195,854千円、経常利益は213,695千円、四半期純利益は119,943千円となっております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 物販事業

当事業において運営するプロ向け理美容商材インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」は、サービス開始から10年目を迎え15万を超える登録会員事業主数を有するまでに成長しました。また、オンラインショップにおける徹底したユーザビリティの改善を図るとともに、新自社物流センター構築による配送サービスの向上に努めた結果、当事業は堅調に推移しております。

この結果、当事業の売上高は2,858,976千円、セグメント利益は282,052千円となっております。

② 店舗設計事業

従来受注案件の多くを占めていた小型案件や個店案件に加えて、ビューティサロンを展開するチェーン本部からの案件の獲得など、当社グループの総合力を活かすことで、受注の促進を図って参りました。

この結果、当事業の売上高は740,988千円、セグメント利益は27,277千円となっております。

③ その他周辺ソリューション事業

ビューティサロンの開業と経営に必要な各種ソリューションサービスを、各専門インターネットサイトと全国主要都市12ヶ所のショールームを通して提供することにより、不動産物件仲介サービスや集客支援サービス、e-ラーニングサービス等を中心にビューティサロンに対する開業と経営支援事業の売上向上に努めました。

しかしながら、e-ラーニングサイトの整備に期間を要したことなどから、損益が赤字となりました。

この結果、当事業の売上高は153,809千円、セグメント損失は3,053千円となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて0.6%減少し、1,434,989千円となりました。これは、主に商品の増加51,134千円があったものの、売掛金の減少50,885千円及び現金及び預金の減少38,080千円があったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて22.0%増加し、135,442千円となりました。これは、主に無形固定資産の増加11,705千円及び有形固定資産の増加10,130千円によるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて18.4%減少し、671,353千円となりました。これは、主に未払法人税等の減少54,458千円、買掛金の減少53,473千円及び短期借入金の減少52,497千円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて90.7%増加し、100,902千円となりました。これは、主に長期借入金の増加61,740千円によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて17.7%増加し、798,176千円となりました。これは、主に当四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が119,943千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月14日に公表いたしました連結予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	422,021	383,941
売掛金	329,720	278,835
商品	562,922	614,057
仕掛品	28,779	15,817
その他	109,736	151,874
貸倒引当金	△9,895	△9,536
流動資産合計	1,443,286	1,434,989
固定資産		
有形固定資産	24,295	34,426
無形固定資産		
ソフトウェア	7,451	20,746
のれん	4,767	3,178
その他	116	116
無形固定資産合計	12,335	24,041
投資その他の資産	74,420	76,974
固定資産合計	111,052	135,442
資産合計	1,554,339	1,570,431
負債の部		
流動負債		
買掛金	266,826	213,353
短期借入金	70,000	17,503
1年内返済予定の長期借入金	61,400	74,320
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
未払法人税等	92,691	38,233
賞与引当金	17,330	47,843
製品保証引当金	13,250	9,873
受注損失引当金	261	—
その他	281,439	250,227
流動負債合計	823,199	671,353
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	3,400	65,140
ポイント引当金	23,144	15,895
資産除去債務	6,011	9,753
その他	10,350	10,113
固定負債合計	52,906	100,902
負債合計	876,106	772,255

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,400	138,400
資本剰余金	89,667	89,667
利益剰余金	450,166	570,109
株主資本合計	678,233	798,176
純資産合計	678,233	798,176
負債純資産合計	1,554,339	1,570,431

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	3,753,774
売上原価	2,392,797
売上総利益	1,360,977
販売費及び一般管理費	1,165,122
営業利益	195,854
営業外収益	
受取利息及び配当金	75
為替差益	16,523
その他	2,611
営業外収益合計	19,209
営業外費用	
支払利息	1,072
その他	295
営業外費用合計	1,367
経常利益	213,695
特別利益	
固定資産売却益	82
特別利益合計	82
特別損失	
固定資産除却損	763
特別損失合計	763
税金等調整前四半期純利益	213,015
法人税、住民税及び事業税	99,788
法人税等調整額	△6,716
法人税等合計	93,071
少数株主損益調整前四半期純利益	119,943
四半期純利益	119,943

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	119,943
四半期包括利益	119,943
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	119,943

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年5月1日 至 平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リユーション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,858,976	740,988	153,809	3,753,774	—	3,753,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,945	29,708	10,490	58,145	△58,145	—
計	2,876,922	770,697	164,299	3,811,919	△58,145	3,753,774
セグメント利益又は損失(△)	282,052	27,277	△3,053	306,277	△110,422	195,854

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△110,422千円には、セグメント間取引消去7,642千円、未実現利益の調整額△357千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△117,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(公募による新株の発行)

当社は、平成25年2月14日に株式会社東京証券取引所マザーズ市場に上場いたしました。当社は上場にあたり平成25年1月10日及び平成25年1月24日開催の取締役会において、次のとおり新株式の発行を決議しており、平成25年2月13日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は238,910千円、発行済株式総数は1,153,000株となっております。

(1) 募集方法

一般募集（ブックビルディング方式による募集）

(2) 発行する株式の種類及び数

普通株式 95,000株

(3) 発行価格

1株につき2,300円

一般募集はこの価格にて行いました。

(4) 引受価額

1株につき2,116円

この価額は、当社が引受人より1株当たりの新株式払込金として受け取った金額であります。

なお、発行価格と引受価額との差額の総額は、引受人の手取金となります。

(5) 資本組入額

1株につき1,058円

(6) 発行価格の総額

218,500千円

(7) 引受価額の総額

201,020千円

(8) 資本組入額の総額

100,510千円

(9) 払込期日

平成25年2月13日

(10) 資金の用途

大型ショールーム新設、物流センター拡張、インターネット通販サイト等各種システム強化のための設備資金及び商品ラインナップの拡充に向けた商品の購入資金に充当する予定であります。

(追加情報)

第三者割当による新株の発行

平成25年1月10日及び平成25年1月24日開催の取締役会において、株式会社SBI証券が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式20,000株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議いたしました。

その概要は次のとおりであります。

(1) 発行する株式の種類及び数

普通株式 20,000株(上限)

(2) 割当価格

1株につき2,116円

(3) 資本組入額

1株につき1,058円

(4) 割当価格の総額

42,320千円(上限)

(5) 資本組入額の総額

21,160千円(上限)

(6) 払込期日

平成25年3月22日

(7) 割当先

株式会社SBI証券

(8) 資金の用途

商品ラインナップの拡充に向けた商品の購入資金に充当する予定であります。

(9) その他

株式会社SBI証券は、貸株人から借入れる株式の返却を目的として、東京証券取引所においてオーバーアロットメントによる売出しに係る売出株式数(20,000株)を上限とするシンジケートカバー取引を行う場合があります。

株式会社SBI証券は、シンジケートカバー取引により取得した株式については、割当に応じない予定でありますので、その場合には本件第三者割当増資における発行数の全部または一部につき申込が行われず、その結果、失権により本件第三者割当増資における最終的な発行数が減少する、または発行そのものが全く行われない場合があります。